

福岡市NPO活動推進補助金事業活動報告会

父親であることを楽しもう！

～父親と子どものコミュニケーションを
深めるプロジェクト～



NPO法人ファザーリング・ジャパン九州

特定非営利活動法人 ファザーリング・ジャパン九州（FJQ）とは

「“新”九州男児」なパパ達を支援するパパコミュニティ。

特定非営利活動法人ファザーリング・ジャパン（2006年設立、本拠地・東京都、代表理事・安藤哲也）の九州メンバーが設立したNPO法人です。

ミッションは～「よい父親」ではなく「笑っている父親」を増やす！～

「Fathering＝父親であることを楽しもう」という考えを持つ若い世代の父親を支援。働き方の見直し(WLB)や企業の意識改革、地域社会の再生など父親育児の環境づくりと次世代育成を目標に、セミナー、スクール、検定、旅行、出版などさまざまな父親支援事業を展開。また父子家庭支援や男性の育休取得推進など政策提言としての活動も行う。

★ 2010年4月4日旗揚げ

2012年7月1日NPO法人認可取得

会員：約35名（FJ全体では約400名）



父親が育児に関わるメリット

- ・母親の育児ストレスが軽減される。
- ・夫婦関係(パートナーシップ)が強まる。
- ・子どもの成長にいい。言葉や社会性が早く身につく。子どものよきモデルとなる。
- ・自活力がつく。地域に友達も増え、定年後～老後も安心。
- ・仕事で有効な能力も身につく。アイデアが仕事に活きる。
- ・父親自身の世界が広がり、人生が楽しくなる。

補助事業に申請した動機

父親が育児家事に**主体的に取り組む**
きっかけをつくりたい

NGワードNo1. 手伝ってあげる

「育児に‘参加’」「家事に‘協力’」も同様
「手伝う」＝「育児は自分の仕事ではない」

さらば「家族サービス」

「サービス」は通常、お客様に対して使う用語
「家族サービス」を口にする父親にとって家族は「週末のお客様」

⇒ 運転手・撮影係・ATM

実施報告【概要】

父と子のコミュニケーションを深める料理セミナー

「パパ料理・親子料理を通して家庭の幸せを創造しよう！」

【概要】

- ・日時：平成27年2月27日 19:00～21:00（会場は18:00～22:00）
- ・会場：ピーチスタジオ（福岡市博多区住吉4-1-5 福岡GOAビル901）
- ・参加者：15名
- ・講師：滝村 雅晴氏

パパ料理研究家

株式会社ビストロパパ 代表取締役

大正大学 客員教授

内閣府食育推進会議 専門委員

日本パパ料理協会 会長飯土

NHKラジオ第一「すっぴん！」パパッとパパ料理レギュラーコメンテーター

・目的：

何かと食に関することは母親任せになりがち。しかし、食に関して意識を持つことで、子どもや家族に対してもグッと意識を向ける。



実施報告【効果】

パパが食に関して考えるこることは、自分自身のためでもあるということに結び付けることで、より関心が高くなったと思います。
体重が増えて体が重い、風邪をひきやすい、体がだるい……など、自らの健康管理ができてこそ、ワークライフバランスを保つことができます。
健康で働き続け、生活を楽しむためにどうすればいいか。
本セミナーで、健康料理の献立ポイントから、今日からできる食生活習慣までを分かりやすく講師の実体験を交えお伝えいただきました。
参加者からは、さっそく明日から実践しようという声が上がっていました。



市の補助事業採択いただき、当団体が主となる企画ができたが、集客に苦戦
事前に市職員の方ともっと相談をすべきだった

父親が変われば、
家庭が変わる
地域が変わる、
企業が変わる、
そして、社会が変わる。

Fathering Japan

ご清聴ありがとうございました！

